

2年 学年だより 12月号



【教育目標】自律・友愛・創造

「自らを律し、なかまを大切に、創造性豊かな人」

自らを鍛え、責任ある行動をとり、学び合い、高め合う「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

京都市立松原中学校

令和2年12月 1日(火) 発行

文責：斎藤 猛

< 12月 行事予定 >

日	曜日	行事内容
1	火	7限授業 和装体験(1年生)
2	水	
3	木	人権学活①(6限)
4	金	評議専門委員会(放課後)
5	土	
6	日	
7	月	7限授業
8	火	
9	水	型染め体験(1年生)
10	木	7限授業 人権学活②(6限)
11	金	7限授業
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	7限授業
16	水	三者懇談会①(午後)
17	木	三者懇談会②(午後)
18	金	三者懇談会③(午後)
19	土	
20	日	
21	月	三者懇談会④(午後)
22	火	
23	水	7限授業 4限:学年集会 6限:終業式・学活 7限:大そうじ
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	大晦日

3学期 始業式・平成3年1月5日(火)

いよいよ12月

「師走」を迎えました！

新年を迎える準備期間です。

< いよいよ師走の時期に・・・ >

今年も残すところ1ヶ月となりました。今年の1月に新年の目標を立て、その目標が達成することができましたか？この1年間を振り返るにはまだ早い気もしますが、そうこうしている間に12月が、終わってしまいます。もう一度、その時の目標を思い出すのもいいかもしれません。

12月を「師走」と呼びますが、どのような意味があるのでしょう。1年の最後の月であり大きな行事も多いことから、「師(僧)が走る説」=日本には、昔から年末になるとお坊さんに自宅まで来てもらい、お経を唱えてもらう風習がありました。そのため、年末が近付くとあちこちから依頼が来るお坊さんは、東西を行ったり来たりと大忙しになります。その様子を見て「師が馳せる」から師走になったという説です。「年果つ説」=12月は1年が終わる月ということから、四季が終わる・年が終わるという意味で、年果つ(としかつ)が変化し、としかつ→としはす→しはす→しわす、となったと言う説。「当て字説」=日本書紀や万葉集などの書物には、12月(十有二月)を「しわす」と呼んでいたとされる記述が残っています。これがやがて、師走に充てられたという説です。

師走の語源は正確にはわかっていないものの、12月は何かと忙しくなる時期ですよね。走り回る必要のない落ち着いた師走を過ごせるように、今から準備を万全に整えておきましょう。

(Webページより引用)

来年度の「修学旅行」について

新型コロナウィルスの影響で、本校の今年の「修学旅行」の日程・行き先も変更しました。来年度は、感染対策防止の観点から行き先を「信州方面(長野・富山県)」に決定しました。大自然の中での体験をメインに置き、今まで体験したことのない体験を計画しようと現在考えています。宿泊施設については、今まで「民泊」を通して地元の方と「ふれ合い」「地元に学ぶ」を実践していましたが、今回は、ペンションとホテルの利用を考え、移動交通機関についても、貸し切りバスを出発から帰校まで、同一バスを利用します。

今回「修学旅行クラステーマ」1組:文化 2組:交通・産業 3組:自然・環境をテーマとして、班のテーマをクラスで話し合い、生徒一人ひとりのテーマを決め、総合学習の時間に情報収集と調べた内容をまとめ掲示プリントの作成をおこなう計画になっています。また、保護者対象の「修学旅行説明会」が、1月以降に実施されますので、詳細については説明会でお知らせさせていただきます。

冬休み(1/4まで)